

2024年4月4日

各位

SBS フレイトサービス株式会社

救命救護活動により表彰されました

SBSグループにおいて、広域物流を手がけるSBSフレイトサービス株式会社（社長：中林伸人、本社：横浜市磯子区）は、当社の従業員が行った救命救護活動に対して、3月15日、神奈川県海老名市消防本部より表彰を受けましたのでお知らせいたします。



昨年11月、当社湘南支店厚木倉庫（神奈川県海老名市）において、事務作業中の男性社員が突然倒れ、心肺停止状態になりました。その場にいた同僚の加地、大坂、森野が倒れた男性社員に対し、心臓マッサージ、AEDによる電気ショック、人工呼吸を繰り返し、救急隊員が到着するまでの間、救護活動を行いました。

倒れた従業員は長時間の心肺停止で、救急搬送後も昏睡状態が続きましたが、数週間後に意識が回復。現在は後遺症も無く快復し、復帰に向けてリハビリを行っていることを受け、当社員による迅速な通報および現場での適切な措置が人命救助に貢献したと、海老名市消防本部より感謝状をいただきました。



前列左から、大坂幸次、湘南支店長の新井一貴、加地大輔（森野芳一は業務の都合上、欠席）



当時を振り返り、加地や大坂は「救急搬送時も心肺停止状態だったため、助かるとは思えず、正直ダメだと思っていた」と。たいへん危険な状態だったと語る一方で、決して諦めずに救命活動を継続。森野は「『心臓動いて、呼吸、意識もどって』と思って行動しました」と話しました。大野消防長からは「長時間の心肺停止だったため、日常生活に戻るまで回復するのは極めて稀な事例。AEDを活用し人命を救護した従業員の連携は他の模範である」とお褒めの言葉をいただきました。

当社では全事業所にAEDを設置し、年に1度、使用訓練を実施しています。またAEDの設置を示す看板を事業所前に掲げることで、地域の皆様と共に救護活動を行える体制を整えております。当社は、今後も緊急時に的確、迅速に対応できるよう救命訓練を継続してまいります。

以上

■ご参考

<SBSフレイトサービス株式会社概要>

本 社：神奈川県横浜市磯子区杉田5-32-50

代 表 者：代表取締役 中林伸人

設 立：1944年（昭和19年）

親 会 社：SBSロジコム株式会社（100%）

資 本 金：10,000万円

従業員数：400名（2024年2月末現在）

事 業 所：青森、八戸、盛岡、宮古、仙台、羽生、袖ヶ浦、横浜海上コンテナ、湘南、小田原、延清、下田、沼津、静岡など18か所

事業内容：一般輸送（三温度帯、書籍）、特殊輸送（ロケ資材）、海上コンテナドレージ輸送、倉庫・保管、物流センター運営

U R L：<http://www.sbs-freight.co.jp>

■本件に関するお問い合わせ先

SBSフレイトサービス株式会社

本社管理部 または 営業本部

TEL:045-370-7305/FAX: 045-370-7306

■本件に関するマスコミからのお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社

I R・広報部 TEL：050-1741-2240/e-mail：contact11@sbs-group.co.jp

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。